

電線材料カンパニー事業戦略

日立金属 IR Day 2018

2018年5月25日

日立金属株式会社

執行役 電線材料カンパニープレジデント

村上 和也

電線材料カンパニー事業戦略

[目次]

- 1.カンパニー基本方針
- 2.成長5分野のアクションプラン
- 3.まとめ

■成長分野を加速させる施策

鉄道

中国拠点の生産能力増強・欧州顧客層拡大

医療

カテーテル・ケーブル融合製品の開発
プローブケーブル生産能力増強

電装部品

グローバル拠点の生産能力増強・新製品開発

■基盤製品を強化する施策

機器用電線

急成長するFA・ロボット分野への増産対応

マグネットワイヤ

成長を見込むEV*用マグネットワイヤ向け
革新的生産ライン導入・HiFC[®]平角線開発

新型連続
鋳造圧延ライン

2018年4月竣工
⇒基盤製品の競争力強化・HiFC[®]量産対応可能

FA・ロボット用電線、EV用マグネットワイヤを新成長ドライバーへ

基盤製品

主な製品群

- 建設用電線
- 機器用電線
- ブレーキホース

成長分野

主な製品群

- 鉄道車両用電線
- 医療機器用電線
- 自動車電装部品



電線材料
2018年度売上収益
2,400億円

新成長分野

主な製品群

- FA・ロボット用電線
- マグネットワイヤ



■電線材料カンパニー基本方針

成長分野を拡大し、
高収益体質への変革を実行

■2018年度 目標

| | 2016年度 実績 (為替レート 1\$=108円) | 2017年度 実績 (為替レート 1\$=111円) | 2018年度 目標 (為替レート 1\$=105円) | 17年対比 増減 |
|----------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------|
| 売上収益 | 2,414億円 | 2,305億円 | 2,400億円 | +4% |
| 調整後営業利益 | 147億円 | 149億円 | 170億円 | +21億円 |
| 調整後営業利益率 | 6.1% | 6.5% | 7.1% | +0.6% |
| 海外売上比率 | 34% | 38% | 38% | — |

電線材料カンパニー事業戦略

[目次]

- 1.カンパニー基本方針
- 2.成長5分野のアクションプラン
- 3.まとめ

■急拡大するFA・ロボット市場向けに30億円設備投資

■ 市場環境

2020年まで年率20%前後の成長

出典:各種資料を参考に当社推定

■ 当社特長

自動車向けセンサケーブルで
培った耐屈曲ケーブル技術

需要地近くでケーブル生産

各拠点で端末加工まで一貫生産

日本・中国・ベトナムで
設備投資を実行
(~2020年度順次稼働)

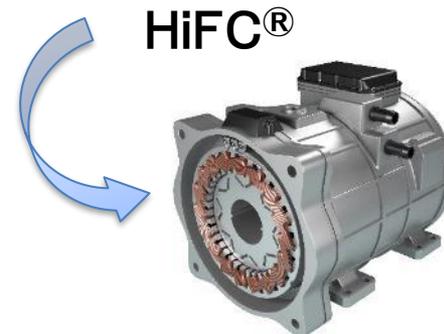


FA・ロボット用電線 2020年度売上目標 100億円
(2016年度対比3倍)

■ HiFC[®]と革新的生産ラインによるEV市場向け事業拡大

高性能モーターにHiFC[®]の適用拡大

| | HiFC [®] | タフピッチ銅 | 高性能モーターへの貢献 |
|-----------|-------------------|--------|-------------|
| 導電性 | ◎ | ○ | 小型軽量化2%*1 |
| 柔軟性 | ◎ | △ | 生産性向上 |
| 加工後の導電率回復 | ◎ | × | 高効率化 |
| 溶接性 | ◎ | △ | 信頼性向上*2 |



革新的生産ライン導入によるモノづくりの高速化

- ・日本、タイで生産設備導入・量産化 (2018年度～順次稼働)
- ・中国での生産検討開始



マグネットワイヤ 2025年度売上目標 **1.5倍**
(2016年度対比)

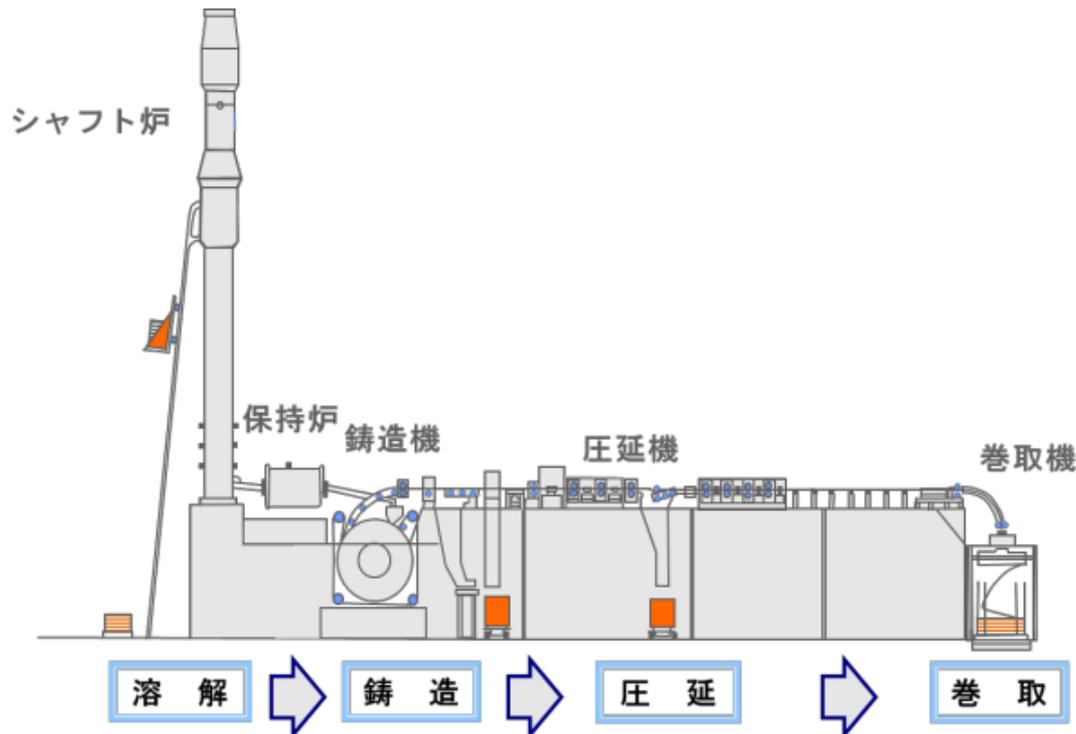
*1 銅線重量2%軽量化(当社タフピッチ銅との比較) *2 HiFC[®]は銅中の酸素が少ないため、溶接部分の信頼性が向上

■ 新型連続鑄造圧延ライン竣工 (2018年4月)

最新の制御技術(IoT)を駆使した導体製造ライン

エネルギー効率・生産性の大幅な改善

新プロセス導入によるHiFC[®]の本格量産



■ 中国・欧州を中心にさらなる事業拡大

■ 中国

17年度売上 16年度対比1.5倍達成。継続して拡大施策を実行

新型特別高圧ケーブル用端末投入によりシェア拡大

■ 欧州

ソリューション提案と生産能力増強によるハーネス事業拡大



新型特別高圧ケーブル用端末



車両用電線



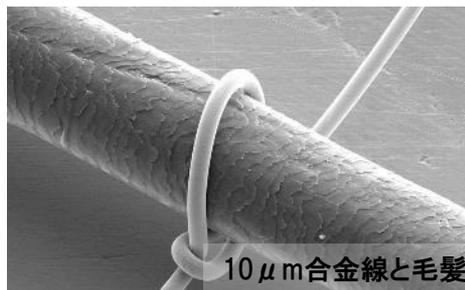
車両用電線(通信)

鉄道分野 2018年度売上目標 140億円

■カテーテル・ケーブルの複合製品の量産立上・拡販



高精度・細径チューブ
製造技術



極細同軸ケーブル技術
・微細端末接続技術



ディスポーザブル
体内診断用
カテーテル製品

■プローブケーブル新製品量産と生産能力増強



新型医療用プローブケーブル量産化

中国拠点の加工自動化推進

(2018年度4Qより順次稼働)

医療分野 2021年度売上目標 110億円

■グローバル成長戦略実行により持続的な事業拡大

適用車種拡大に対応した 生産能力増強

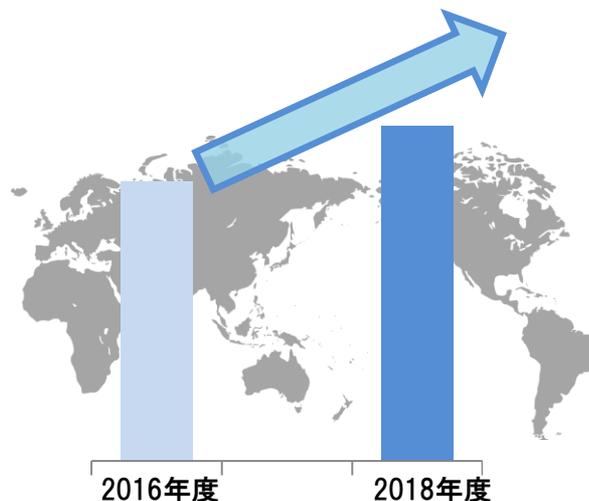
ABS一体型
EPBハーネス



各種センサー



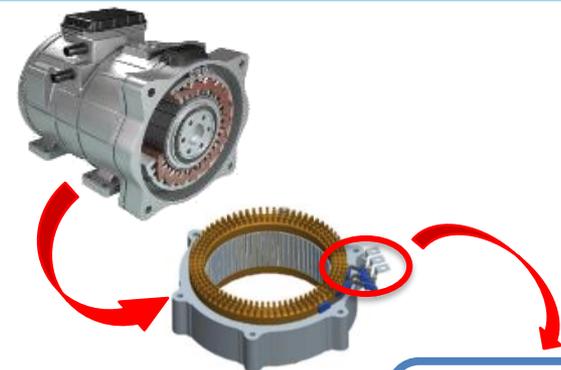
自動車電装分野の売上推移



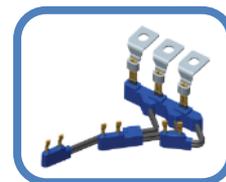
2018年度売上目標 1.2倍

2016年度対比
*為替影響除く

EV用モータ向け 配線部材の量産拡大



ステータ



モータ接続の自動組み付け
により、モータ組立作業の
簡易化を実現

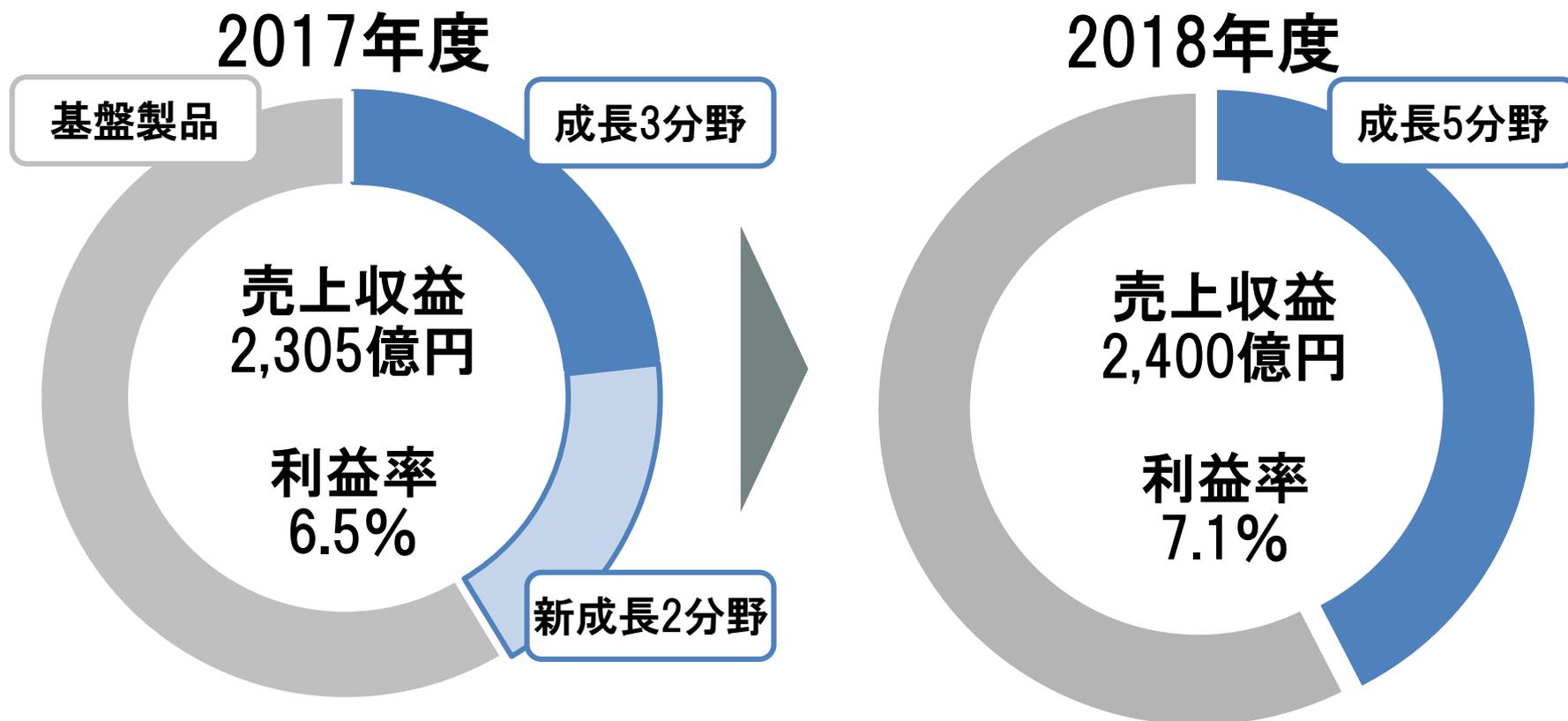
自動車電装分野 2018年度売上目標 350億円

電線材料カンパニー事業戦略

[目次]

- 1.カンパニー基本方針
- 2.成長5分野のアクションプラン
- 3.まとめ

成長分野を拡大し、高収益体質へ



■電線材料カンパニー基本方針

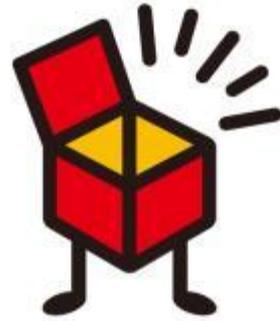
成長分野を拡大し、
高収益体質の変革を実行

電線材料カンパニー
2018年度 計画

売上収益: 2,400億円
調整後営業利益: 170億円 (7.1%)

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米州、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動



Materials Mag!c
日立金属